

現状(1): 地域別移住実績(単位:組)

※H29.7月末時点

移住実績(7月末)

307組424人

対前年同期比114%

※移住先地域不明者
(6組6人を含む)

安芸地域

44組55人

物部川地域

25組42人

高知市地域

59組81人

嶺北地域

23組34人

仁淀川地域

29組48人

高幡地域

46組59人

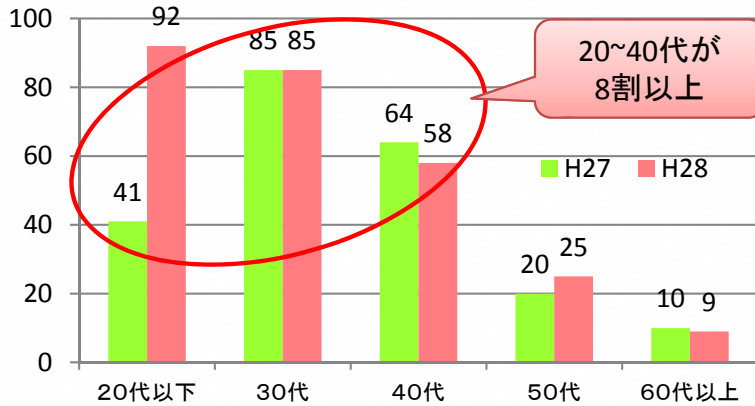
幡多地域

75組99人

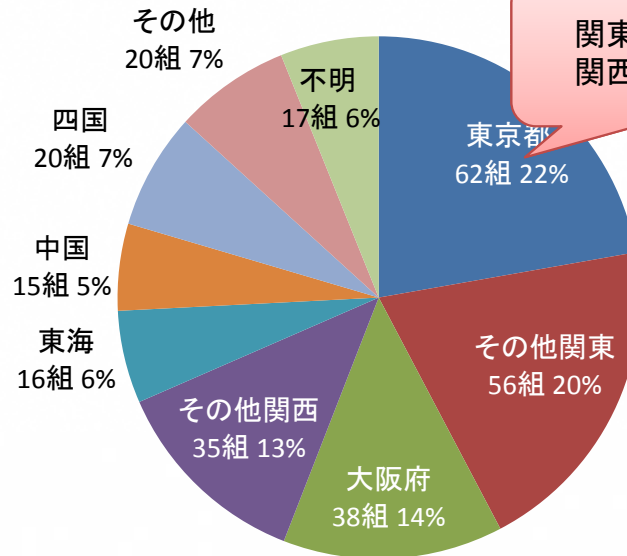
現状(2): 移住者の属性(H28年度県の窓口を通じた把握分「279組」の内訳)

①年代(単位:組) ※不明者を除く

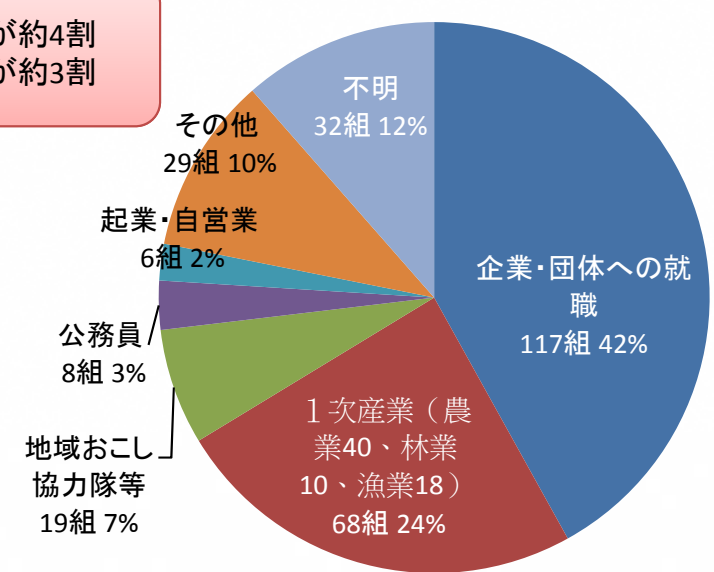
※不明者を除く



③移住前住所地(単位:組)



④移住後の就業等の状況(単位:組)



②出身(単位:%)

高知県	71 (25%)
高知県以外	163 (59%)
不明	45 (16%)

現状(3): 専門相談員、地域移住サポーター配置状況

※H29.7月末時点



専門相談員の配置

28市町村



地域移住サポーターの配置

16市町村101人

人材ニーズの顕在化から都市部人材とのマッチングまでのスキーム

基本のステップ

新組織の構成員による人材ニーズの掘り出し（顕在化）

顕在化した人材ニーズをDBにより一元的に集約

仕事のやりがいや地域の良さ（自然、食、QOL）、受入側の「来てほしい！」という思いを加え、「移住的求人提案書」に

- ポータルサイトで一元的に発信（= 高知求人ネットの改修）
- 移住希望者に合わせた仕事や人材ニーズの提案

人材ニーズの顕在化

人材ニーズの集約とブラッシュアップ

都市部人材への発信・マッチング

